

平成 30 年度第 1 回横須賀市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 平成 30 年(2018 年)6 月 27 日(水) 15:00～16:00
- 会 場 横須賀市役所 1 号館 3 階 A 会議室
- 出席委員 横須賀市スポーツ推進審議会委員(敬称略 50 音順)
磯部忠、伊藤藍子、柏木雅一、加藤努、佐藤雅訓、東海林義勝、
鈴木志保子、鈴木英雄、鈴木満、滝瀬絹子、田中利一、三橋政義
- 事務局 文化スポーツ観光部 上条浩部長
スポーツ振興課 高橋哲也課長、柴崎正係長、蛭田茂穂係長、
松浦政行主査、岩崎翔平(記録者)
保健体育課 鎌原徳宗課長、志村康浩係長
- 傍聴者 なし
- 議事内容 開会
1 委嘱書交付
2 横須賀市あいさつ
3 自己紹介
4 議 題
(1) 委員長の互選について
(2) 平成 30 年度横須賀市スポーツ推進審議会年間予定について
(3) 平成 30 年度本市スポーツ関係事業概要及び進捗状況について
(4) 報告事項
・平成 30 年度におけるスポーツ主管課の組織の改正について
・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた選手の育成強化〔継続〕
・体育会館の営繕工事について
5 意見交換
6 その他
- 資 料 1 横須賀市スポーツ推進審議会委員名簿
2 平成 30 年度横須賀市スポーツ推進審議会予定
3 平成 30 年度社会体育・学校体育関係事業概要
4 平成 30 年度スポーツ関係事業進捗状況
5 平成 30 年度におけるスポーツ主管課の組織
6 横須賀再興プラン(スポーツ関係抜粋)
7 横須賀市体育協会 スポーツ学習・講習会 チラシ

● 開会

事務局(松浦主査)が、平成30年度第1回横須賀市スポーツ推進審議会の開会を告げた。

1 委嘱書交付

上条文化スポーツ観光部長が、出席委員12名に委嘱書を交付した。

2 横須賀市あいさつ

上条文化スポーツ観光部長が挨拶を行った。

3 自己紹介

委員および事務局が1名ずつ自己紹介を行った。

● 定足数の確認

14名の委員のうち12名の委員が出席しており、スポーツ推進審議会条例第4条に基づく過半数を超えていることから、会議は成立となった。

● 傍聴者の確認

傍聴を希望される方はいなかった。

4 議題

(1) 委員長の互選について

- ・事務局(松浦主査)からスポーツ推進審議会条例に基づく委員長の責務を説明した。
- ・参加委員から特に意見が無かったため、事務局から同審議会への実績やスポーツの指導歴等から鈴木(満)委員を推薦し、全委員同意のもと鈴木(満)委員を委員長及び当会議の議長とした。
- ・委員長職務代理者は、鈴木(満)委員長が東海林委員を指名し、全委員拍手により承認された

□ 鈴木(満)委員長あいさつ

4月から文化スポーツ観光部ということでスポーツを意識していく力を入れていくということでスポーツ推進審議会も皆さん良い意見を出しながら体育行政の一助になればと思います。よろしくお願いいたします。

(2) 平成 30 年度横須賀市スポーツ推進審議会の予定について

● 概要説明

事務局(松浦主査)が資料2・6ページをもとに説明した。

【要旨】

- ・審議会は年3回の開催を予定している。
- ・年間のスポーツ関係事業は資料6ページのとおり予定している。各行事前に案内状を各委員に送付するので、お時間の都合がつかうようなら本市のスポーツ行事の様子をご覧いただきたい。

● 審議・意見交換

□ 鈴木(満)委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

(3) 平成 30 年度本市スポーツ関係事業概要及び進捗状況について

● 概要説明

事務局(松浦主査、蛭田係長、柴崎係長、志村係長)が資料3～10ページをもとに説明した。

【要旨】

・横須賀再興プラン

『海洋都市』『音楽・スポーツ・エンターテイメント都市』『個性ある地域コミュニティのある都市』と、本市の持つ地域の魅力や特性を生かした3つの方向性のもと、横須賀の再興に向かって取り組みを進めていく。スポーツの取り組みは重要なものと考え、委員の皆様には様々なご助言やご協力を賜りたい。

・社会体育関係、施設(体育会館)関係、学校体育関係予算

平成 30 年度の関係予算を説明した。

・スポーツ関係事業進捗状況

今年度は会場を変更している行事もあるが、順調に実施することが出来ている。本審議会までの行事の様子等を資料9ページ写真で報告した。

● 審議・意見交換

□ 委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

□ 委員

体育会館が5つあり、他都市よりも多くて大変助かっています。残りの体育会館の修繕工事の計画がわかれば教えていただきたいと思います。

□ 事務局

現在、メインアリーナは特定天井の耐震化を図る工事を行っています。東日本大震災の後、耐震基準が変わったため、それを満たすための工事となっています。今後の計画として、31・32年度に北体育会館、西体育会館、南体育会館と順次修繕を行っていきます。それにあわせて競技場以外の劣化している部分や改善したほうが良い部分を改修していきます。

□ 委員

小さい子供が体力を作るための場所が少なくなっている。学校の遊具を使って遊ぶことが大変重要だと思いますが、学校も年数が経っているので遊具を維持することは難しいことかもしれないが、減らすのではなくて維持して行ってほしいと思います。

□ 事務局

各学校の状況もありますが、アスレチックなどは大分年数も経ってきている状況です。学校管理課で定期的な点検をしています、十分な点検をして安心安全な場の提供を考えていきたいと思っています。

□ 事務局

公園の遊具も安全に遊べるよう点検をしています。遊具を減らすのではなく子供たちが安全に遊べる環境を作っていきたいと考えています。

□ 委員

佐原2丁目公園が全面リニューアルされ、高齢者も遊べる学べる遊具があり、子供だけでなく未病につながる施設が増えるとよいと考えます。

歳出だけでなく歳入に関してですが、横須賀アリーナや他の体育会館の命名権を公募すると予算を有効に活用できるのではないかと考えます。条例改正も必要だと思いますが、ネーミングライツについてどのように考えているのでしょうか。

□ 事務局

背中を伸ばす遊具などは高齢者の健康器具としても良いと思っています。予算がかかるものなので既存の遊具と兼ねる事が出来ないか等を検討したいと思っています。担当部所環境政策部にも伝えます。

ネーミングライツは重要だと考えています。追浜地区にDeNAベイスターズ総合練習場や久里浜地区にF・マリノスの練習場など有名なプロチームが来ればネーミングライツは考えなくてはいけなし、施設の中の広告も重要な財源になると思っています。営業をしっかりと行い、その収入が市民スポーツやプロスポーツに充当されて、より良いスポーツ環境になるよう営業努力をしていきたいと思っています。田中委員にもマリノスの関係でぜひご協力いただければと思います。

(4) 報告事項

● 概要説明

事務局(松浦主査、蛭田係長、柴崎係長)が資料 10～11 ページをもとに説明した。

【要旨】

- ・平成 30 年度におけるスポーツ主管課の組織の改正について
「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市構想」を推進するべく、文化スポーツ観光部を新設した。文化やスポーツを一つの観光資源として、市民はもちろん、観光客も、もっと楽しめるまちづくりを進めていく。
- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた選手の育成強化〔継続〕
横須賀から 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に出場する選手を育成するため、市体育協会に対して選手強化の事業費を助成する。体育協会では、事業のひとつの取組みとしてスポーツ学習・講習会を企画しているので多くの方に受講していただきたい。国の強化選手などの指定を受けた「オリンピックまであと一歩」の選手に対して、年額5万円の奨励金を支給する。昨年度は2名の選手に支給した。
- ・体育会館営繕工事について
メインアリーナ競技場は今年の 12 月末まで使用できません。また、サブアリーナのプールが 10～12 月の間、北体育会館のプールが1月に休館を予定している。そのほかの体育会館の各種営繕工事等は、営業をしたまま工事を行う予定。

● 審議・意見交換

□ 鈴木(満)委員長

ただいまの説明につきまして質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

5 意見交換

□ 委員長

意見交換に入ります。質問や各団体の行事の告知でも構いませんし、情報交換の場として委員の皆様には忌憚のないご意見を頂ければと思います。どなたかご発言はありますか。

□ 委員

体育協会では、昨年度 13 回の講習会を実施しました。今年度もチラシのとおり開催していきます。鈴木(志)委員にもご協力いただいております。先日の第1回の講習には 70 数名の選手や親御さん、指導者が参加されました。特に親が聞いてくれると選手も変わっていいののかと感じています。

また、体育協会では特定競技としてレスリング、ライフル射撃、新体操、セーリングを指定して強化しています。レスリングでは選手が全国大会に出場したり、ライフル射撃では4人がインターハイに出場予定など、地道にですが少しずつ効果がでていきます。ぜひ他の団体の方にもこの講習会にご参加いただければと思います。

□ 委員

レクリエーション協会は加盟団体が 10 団体で、各団体個別の事業も行っています。また、2種目の市民スポーツ教室の委託を受けて活動しています。市民の参加を得ながら活動しているので今年も続けてまいりたいと思っています。

□ 委員

講習会も初めは20名くらいでしたが人数も増えてきて、毎年同じことを話しているつもりですが、聞く度に響くところが違うようで、最初から参加している子供もだんだんと大きくなって行って成長していくのが見れてうれしいです。学校給食に関することや平昌に行ってきたこと、今後アジア大会のパラ競技にも行って来るので、その経験を講習会の中でプラスして話していきますのでたくさんの人に集まっていただければと思います。

□ 委員

2時間の講義ですが小学生も全然飽きずに聞いてくれている。大変すばらしい講義です。

□ 委員

スポーツ推進委員を20数年携わってきましたが、それはほんの一部分なのだと実感しました。これから勉強させていただきたいと思います。

□ 委員

総合体育会館について、利用者の利便性を高めるために靴の脱ぎ履きの煩わしさを払拭するような工夫を検討してほしいと思います。藤沢の秋葉台文化体育館では外靴で観覧席まで入れてフローアは履き替えるような施設となっています。玄関前での脱ぎ履きは混雑時に事故に繋がりがねないですし「する。みる。関わる」3者が満足するような施設となるよう、今後の改修・リニューアル時に検討してほしいと思います。

市体育協会や指導者協議会の中でも話しがあるかもしれませんが、指導者のモラル向上は必要だと思います。サッカーではウェルフェアオフィサーという登録制度を設けていて、その試合でフェアプレイが推進されているか、どういう点に着目するかなどレクチャーを受けて日本サッカー協会に名簿登録されます。その大会に1名いることが望ましいとされていて、選手役員レフェリーがリスペクトされたうえで大会を運営していきます。ほかの競技でも取り組むことが可能であれば、市から助成するような応援をしてほしいと思います。

□ 委員

中学校体育連盟では、次年度の中学校総合体育大会開会式の入場行進で市歌を使いたいと考えています。子どものための音楽会で演奏しているマーチを使い、スポーツと文化を一体として捉え、横須賀市のまちづくりに協力できればと考えています。

運動部活動の在り方について、国や県から「平日1日、休日1日休みなさい」という方針が出ている。試合もあり、指導するための時間確保は難しい状況ではあるが、働き方改革の中ではやむを得ないことであると考えています。しかし、種目により大会日数がかかる専門部もありますし、大きな大会につながる大会もありますので簡単には改善できないこともあります。周囲の動向を注視し、皆様の意向に沿いながら子供たちの夢の実現に向けて対応していきたいと思います。

市の施設をお借りしている立場ではありますが、スポーツ観光や振興により大きな大会を組まれていくと子供たちの大会開催に大きな影響が出てきてしまうことが考えられます。地域の人材育成や選手の強化にも繋がるので、今まで同様に大会が開催できるようにお願いいたします。

□ 委員長

スポーツ指導者協議会でも、日本スポーツ協会公認指導員の資質の向上として研修会を行っています。また、スポーツ振興課や保健体育課と連携して、運動部活動や町内会の活動、介護施設の体操など指導者の派遣も行っています。情報があればぜひ協力しますし、他団体とも連携を深めて、良い方向に向かっていければと思っています。

6 その他

□ 事務局

・会議録について

資料説明の部分は要点のみの記載と委員の発言部分をまとめた形式で会議録とし、各委員確認の後、横須賀市ホームページに掲載する。

□ 委員

・資料確認等のメール連絡について

ペーパーレス化にもつながることから、希望する委員に対してはメール連絡とすることとした。

- 以上で、審議が終了し議長降壇の後閉会した。